

【義務一貫教育9年間で目指す姿】 自己有用感の育成

「自分が好き」と言える子ども

【教育理念】

「広げ、深め、高め合う」学校

※「合う」・・・子ども、保護者・地域、教職員が相互に結び合う関係

- 「対話的な学び」を根幹とする学校（学びをつくる）
- 「多様性・個性」を包みこむ学校（関係をつくる）

経営概要

【八坂小中学校 義務一貫教育9年間のねらい】

「広げ、深め、高め合う」学校づくりと、対話を基盤として多様性・個性を認め合い、子どもが「問い」をもって学ぶ授業実践を通して、生涯にわたって協働しながら新たな価値を創り続ける力を養い、「自分が好き」と言える子どもを育成する。

【学校教育目標】

「問い」をもって学ぶ八坂の子

～ICTの有効活用による学び合いの質的向上（教育課題）～

【重点1】学びづくり

子どもが問題意識（「問い」や「願い」）をもち、「なぜ～?」「どちらが～?」等のクエスチョン（W）型学習問題を設定し、見方や考え方、理由や根拠の「ちがい・ズレ」及び共通点を共有することを通して、対話の質を高める

【重点2】関係づくり

地域の方との協働、ICTを有効活用した異学年との交流活動、自律的・対話的に学び合う授業を通して、聴き合う関係を構築し多様性・個性を認め合う

【重点1・2】を支える教育システム

① 義務一貫教育9年間学習システム

ICT有効活用による学び合いの質的向上を教育課題とし、教育課程を前期課程と後期課程で編成する。5年生以降の学習指導は教科担任制で行い、後期課程では複数担任により、生徒一人ひとりの特性に対応する指導を行う。

② 地域協働システム ～「学び合いの里 八坂」と共に歩む～

学校運営協議会との協働により「地域に開かれた教育課程」を編成し、地域と共に生きる八坂の子どもを育成する。

③ 教職員研修システム

教職員が少人数で個別の課題に基づく授業を参観し語り合うことを通して、授業力の向上を図る。 ※「授業クリニック」「ICT研修」「YPU」